

評価担当者	課名	氏名	内線
	都市デザイン課	荻野 浩一	1300

コード	VI-18-43	施策名	快適な住環境の確保
施策の方針	市民の暮らしと調和した生活空間を形成する		
まちづくりの方針	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		
施策の目的	安心安全で快適に暮らせる住環境の整備を行うため、空き家の有効活用や住宅用地の整備、市営住宅の適切な管理を行います。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク制度を充実を図ると共に、利用可能な空き家を有効に活用できるよう情報提供を行い、移住者に対する支援を行います。</li> <li>・家屋の耐震診断及び耐震改修工事を促進します。</li> <li>・周辺環境に影響を及ぼす老朽危険家屋の取り壊しを促進します。</li> <li>・公営住宅の長寿化に向け計画的に改修します。</li> </ul>		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標値 上段：当初 下段：現在	
			単位	H26	H27	H28	H29		H30
	空き家バンク制度活用による成約件数	空き家バンクの成約延べ件数	目標	件	7	14	60	80	30
			実績	2	21	43	61	100	
			達成率	%	-	300.0%	307.1%	101.7%	
	公営住宅長寿命化計画に基づく改修工事を実施した市営住宅の戸数	改修工事を実施した市営住宅の戸数	目標	戸	6	20	30	45	60
			実績	-	6	14	20		
			達成率	%	-	100.0%	70.0%	66.7%	
	「小郡の丘」の定住人口の増加	「小郡の丘」の住民数	目標	人	138	147	165	170	220
			実績	138	152	164	159	175	
			達成率	%	-	110.1%	111.6%	96.4%	
○	老朽危険家屋の除去件数	除去に対する助成件数(単年度)	目標	件		7	8	8	8
			実績			7	6		
			達成率	%			100.0%	75.0%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析

空き家バンクの制約件数は目標を達成できましたが、市営住宅の改修工事や老朽危険家屋の除去件数については、国庫補助金等の財源不足により、未達成となりました。小郡の丘については、ほぼ完売している状況から、住民数については微増減での推移となる見込みです。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	
市民意識調査結果(H29調査)	強化領域	2.39	1.57	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">満足度</div> </div>
市民意識調査結果分析	<p>・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p> <p>空家バンクの登録件数は順調に推移しているが、利用者のニーズに沿った物件の掘り起こしが必要と考えます。また、空家の増加に伴い老朽危険家屋も増加傾向にあり周辺住民からの問い合わせも増加していることから、これまで以上の対策が望まれているものと考えます。</p>			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題

空き家バンクに関する問い合わせが増加傾向にあることから、成約に結び付くような物件の掘り起こしが更に必要となります。市営住宅の更新については、国庫補助金の動向を見据えた計画的な更新を実施していく必要があります。老朽危険家屋の除去については、今後益々増加していく見込みであることから予防・啓発にも重点を置く必要があります。

＜施策を構成する主な事務事業一覧表＞

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費（単位：千円）			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1 市営住宅長寿命化事業	市営住宅の改修工事	都市デザイン課		23,976	19,407	64,000	継続	○	
2 木造住宅耐震化促進事業	木造建築耐震化に対する補助金	都市デザイン課		4,127	4,633	8,450	継続		VI-18-42
3 市営住宅管理代行事業	市営住宅管理委託	都市デザイン課		37,746	38,511	38,511	継続	○	VI-18-42
4 空き家活用事業	空き家バンクに登録された物件の成約時の改修等の補助金	都市デザイン課	○	4,415	5,051	12,400	重点継続	○	II-6-12
5 老朽家屋除去事業	倒壊の危険が高く、周囲に影響を及ぼす危険家屋の除去に対する補助金	都市デザイン課		2,801	2,950	3,000	重点継続		
6 移住定住促進事業	移住者に対する移住奨励金・引越費用等の補助金	都市デザイン課	○	37,179	42,038	50,000	重点継続	○	II-6-12
7									
8									
9									
10									
合計				110,244	112,590	176,361			

＜施策の今後の展開 ～担当課長評価＞

進捗状況	移住定住に関する業務が、平成30年度より他課(秘書総合政策課)へ移行するが、今後も連携していく必要があります。また、空き家対策については利活用や老朽危険家屋の除去を含め本年度策定した、空家等対策計画に沿った事業実施に努める必要があります。市営住宅の更新については、本年度見直しをした長寿命化計画に沿った事業実施に取り組む必要があります。	課長評価	重点施策であり、前期計画終了(2019年)までに強化する
------	--	------	------------------------------

＜施策の今後の展開 ～内部評価(内部検討会)＞

進捗状況	-	内部評価	-
------	---	------	---

＜臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終＞

評価のコメント	外部評価
	-

＜臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組＞

--